

上部内視鏡検査又は治療を受けられる方へ

<検査の目的>

食道、胃、十二指腸にできる病気（炎症・潰瘍・ポリープ・がん・食道静脈瘤など）を見つけ、適切な治療方法を考えるために行います。



<検査方法>

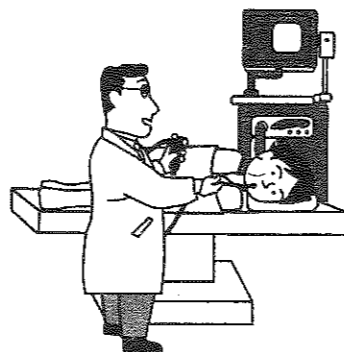
まず、胃の中をきれいにする薬を飲みます。のどにスプレーの麻酔をかけます。その後、より楽に検査が受けられるように鎮静剤の注射をして、少し眠くなった状態にします。内視鏡を口から挿入し、食道・胃・十二指腸をまんべんなく観察します。必要に応じて小さな組織を採取して、顕微鏡検査で良性か悪性かを診断します（病理組織検査）。組織を採取しても、特に痛みはありません。検査時間は10～15分程度です。

生検法

病変の疑いのある組織の一部を生検鉗子（かんし）を用いて採取し、顕微鏡で詳しく調べる検査方法です。腫瘍の切除（手術）ではありません。

特殊（狭帯光域・拡大）内視鏡での観察

病変を見やすくする狭帯光域内視鏡検査や拡大内視鏡検査にて病変を詳細に観察します。



<検査までの準備>

【検査前日 月 日】

・食事

夕食は夜9時まで済ませてください。
夜9時以降は水かお茶またはスポーツ飲料のみを摂取してください。

・薬

いつも飲んでいる薬は飲んでいただいてかまいません。
予約後、他院から薬が処方された場合は内視鏡センターへご連絡ください。

【検査当日 月 日】

・食事

朝から検査終了まで食事はできません。
水は検査の2時間前まで飲んでいただいてかまいません。

・薬

予約の際にお伝えした、血圧の薬、心臓の薬、血液を固まりにくくする薬、精神科の薬、尿を出しやすくする薬、てんかんの薬、パーキンソンの薬などは朝7時までに飲んでください。
それ以外の薬は飲まないでください。

・着替えは必要ありませんが、お腹をしめつけない楽な服装でお越しください。

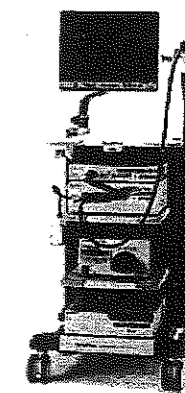
・義歯、メガネは外してください。

・状態の観察をしますので、お化粧品は控えめにお越しください。（口紅、マニキュアはおとしてください。）

・紛失した場合の責任が負えませんので、貴重品（時計、貴金属類など）は身に付けてこないでください。

<検査前後のご注意>

1. 検査後約1時間経ち、鎮静剤の効果がとれたら、検査結果の説明をさせていただきます。
検査の都合上、後日に検査結果の説明をさせていただく場合もあります。
2. 鎮静剤の効果がなくなる時間には個人差があり、眠気やフラフラ感が半日くらい残ることもあります。当日は絶対に車・バイク・自転車の運転をしないでください。ご自分で運転して来院された方には鎮静剤の注射を使用できないことがあります。
また、ご高齢の方にはご家族の付き添いをお願いします。
3. 場合により検査開始時間が遅れたり、順番の変更をさせていただくことがあります。その際は理由を説明させていただきますので、あらかじめご了承ください。
また、患者様が来院出来なくなった場合や予約時間に遅れる場合は、必ずご連絡をお願いします。
4. お腹に空気を送り込んで検査をしますので、張った感じがあります。げっぷやおならは我慢せず出してください。
5. 食事は帰宅後すぐにとっていただいて結構です。ただし、のどの麻酔や鎮静剤の影響で飲食物が気管に入ると危険ですので、ゆっくりとうまく飲み込めることを確認してから食べてください。
*刺激の少ない食事をとりアルコールは控えてください。
6. お腹に力を入れるような激しい運動は避けてください。



<費用について>

検査項目	1割負担	2割負担	3割負担
胃・十二指腸内視鏡	約2,000～ 5,000円	約4,000～ 10,000円	約6,000～ 15,000円

★検査料金に幅がある理由は

1. 初診料もしくは再診料の違い
2. 既往歴により検査薬材料の違い
3. 組織採取（ポリープ切除も含む）の場所や個数の違い
4. ピロリ菌検査の有無
5. 検査の結果、治療のための薬の処方の有無



（医）創生会 渡辺胃腸科外科病院
消化器内視鏡センター

TEL 086-525-2592（平日9～18時）

TEL 086-525-2552（夜間・休日）